

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願-

現在、茨城医療センター消化器外科では、本学・関連施設で保管している診療後の診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています

この研究課題で利用する診療情報等の利用については、研究対象者の方の同意が得られていませんが、本学倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 膵管内乳頭粘液性腫瘍(IPMN)における術前因子による病理学的因子や予後に対する検討

[研究対象者]

2007年から2021年までの当科、大学病院消化器小児外科にてIPMNにて手術を施行された患者。

[利用している診療情報等の項目]

診療情報等：診断名、年齢、性別、予後期間、血液検査、病理診断結果 等

[利用の目的] (遺伝子解析研究：なし)

IPMNの術前因子による病理学的因子や予後因子への関与を解明することを目的としています。

[利用期間] 2018年2月より2024年12月までの間(予定)

[この研究での診療情報等の取扱い]

本学倫理委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には匿名化処理を行い、ご協力者の方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。

[研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

研究責任者：東京医科大学茨城医療センター 消化器外科 鈴木 修司

研究内容の問い合わせ担当者：東京医科大学茨城医療センター 消化器外科 鈴木 修司

電話：029-887-1161 (応対可能時間：平日9時～16時)